



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町9月議会定例会が9月12日から21日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 電算システム 県内12町村共同化へ

近年、行政事務を円滑に遂行するため、電子計算機の使用が不可欠となっていますが、その反面その費用も増大傾向にあり、当町のみならず、県内町村の財政を圧迫してきており、秋田県町村会を中心に県内12町村での電算共同化によるコスト削減の方策を探るため、2年ほど前から調査研究を行ってきました。

今年度から美郷、羽後の両町からの派遣職員と神奈川県町村会の電算共同化に尽力された方をアドバイザーに迎え、秋田県町村会内に新たに電算推進室を設置し、本格的に電算共同化を図ろうとしています。

共同化の方法としては、昨年の震災を教訓に、国も推奨している住民データを庁舎外に置く、通称「自治体クラウド」方式を進めることになっており、当町はこの電算共同化事業に平成26年度からの移行を予定しています。

## 八峰町敬老式 初養老は124名 金婚夫婦は49組

今年度は、古希を迎えた方が124名、傘寿の方が134名、米寿の方が83名となっています。また、結婚後50年を迎えた金婚夫婦も49組おられました。いずれも人生の節目を迎えられた方々であり、あらためてお祝いを申し上げると共に今後一層のご長寿をご祈念申し上げます。



9月2日ファガス文化ホールにおいて開催された敬老式には、対象者のうち初養老の48名を含め145名が出席し、久しぶりの再会で互いの近況を語り合うなど和やかな雰囲気の中で行われました。

また、会場内の一角に設けられた特設の撮影所では節目の記念にと記念写真を撮られる方もおられたほか、式典終了後のアトラクションでは、峰浜民謡サークルの皆さんによる踊りや峰神太鼓の皆さんによる太鼓の演奏が披露され、出席者の皆様からは楽しい一日を過ごしていただきました。

## 生薬栽培事業 町農園で来年度試験栽培

6月8日に社団法人・東京生薬協会

## 全国学力・学習状況調査 今年も好成绩を収める

去る4月17日に小学6年生と中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が8月8日に文部科学省から公表されました。今年度は、小・中学生ともこれまでの国語、算数（数学）の2教科に新たに理科を加えた3教科で実施され、秋田県の状況については、小学6年生は3教科とも全国第1位となり、中学3年生については、総合で第2位となり、5回連続して全国トップクラスの成績を収めました。

このような状況の中で、我が八峰町の子供たちは、今年もまた、全国トップクラスの秋田県の平均を上回る成績を収めることができ、学力・体力ともに極めて安定した状況にあることが判明しました。

この好成绩の背景には、規則正しい生活や学習習慣が身につけていることと、教育現場における学力向上への取り組みとして、児童生徒が発表や、話し合う授業を多く取り入れていること等があります。さらには、家庭や地域の皆様が子ども達を応援し、教育現場やその環境を常に暖かく見守って下さることが学力の底上げや、体力の向上につながっているものと考えています。今後とも学校、家庭、地域の連携を強めながら、町の財産である豊かな自然、先人の築いてこられた教育的土壌、時代の変遷を生き抜いて来られた多くの町民の方々の知恵を大切にして、

と「生薬栽培促進に関する連携協定」を締結しましたが、7月に担当職員と北海道の薬用植物研究センターや生薬栽培圃場、加工施設等を視察したほか、上京し生薬栽培事業について東京生薬協会との打合せ、東京都薬用植物園を視察しました。

また、議員研修は2班に分かれて、第1班は7月に北海道の生薬栽培圃場や加工施設等を、第2班は8月に群馬県前橋市にある生薬加工施設の倉庫と東京都薬用植物園を視察しています。

また、東京生薬協会の会員で生薬栽培の指導・助言をお願いしている金井藤吉商店と、事業の打合せと1回目の勉強会を8月上旬に行ったほか、試験栽培を予定している町の農園と留山等を現地調査していただきました。

これまでの事業の打合せで生薬栽培事業を進めていくうえで課題や問題点も明らかになりました。

現在、放射能対策のため、秋田県を含む17都県で栽培された生薬は、放射能精密検査で放射性物質が検出された場合、使用・出荷はできないことになっているため、製薬会社一社のみが八峰町産生薬を受入れる状況となっております。その生薬はキキョウ、セネガ、ウイキョウ、カミツレの4品目で、年間必要面積は4品目合わせて5.2haです。

この4品目を来年度から10aずつ試験栽培することにし、圃場は農家と町の農園を使用する予定でしたが、放射能の影響等もあり、種子の確保ができず、来年度は4品目合わせて13aを町の農園で試験栽培することから始め、

## 図書室の利用者と貸し出し冊数 5倍強と飛躍的に向上

平成21年度から緊急雇用事業を利用した読書活動の推進を行い、平成22年度には、峰栄館図書室のオープンや、ファガス図書室を2階から1階に移動して住民の利用促進を図るとともに、平成23年度には、ファガスに文化勲章受章者であり、名誉県民・名誉町民でもあります日沼頼夫博士から寄贈された図書をもとに、日沼頼夫文庫をオープンし、図書館司書の養成、さらには、図書システムを導入するなど様々な工夫をしてきました。

これにより、図書室の利用者と貸し出し冊数は、平成21年度に比べて5倍強と飛躍的に増え、平成23年度には県内の図書館を持たない町村ではトップの成績となりました。このようなことから、「平成24年度第36回秋田県図書館大会」ではこれまでの活動が認められて事例発表の機会を得、好評を得ることができました。

今年度においては、交通弱者の利用者を対象とした図書サービスとして、5月下旬から8月上旬にかけて、町内4つの郵便局とJA秋田やまもと八峰支店にリニューアルを含めて移動文庫を設置しました。住民の皆様への身近な文庫としてご利用下さるようお願いいたします。

## 9月議会定例会に 提出した主な議案

△専決処分事項の報告について  
△八峰町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について  
△八峰町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

△八峰町分取造林条例の一部を改正する条例制定について  
△平成24年度一般会計補正予算1、174万4千円を減額するもの  
主な歳出  
非常勤特別職公務災害補償基金負担金、小型ロータリー除雪機購入費、漁業集落排水事業特別会計操出金、道路維持費、橋梁維持費、消防器具置き場屋根改修費などが追加となつていますが、清掃費と道路新設改良費の減額が大きく、歳出全体で減額

△各特別会計補正予算  
八峰町介護保険事業勘定特別会計  
八峰町宮簡易水道事業特別会計  
八峰町漁業集落排水事業特別会計  
△平成23年度八峰町一般会計歳入歳出決算承認について  
△平成23年度各特別会計歳入歳出決算承認について  
△八峰町沢目財産区管理委員の選任について

